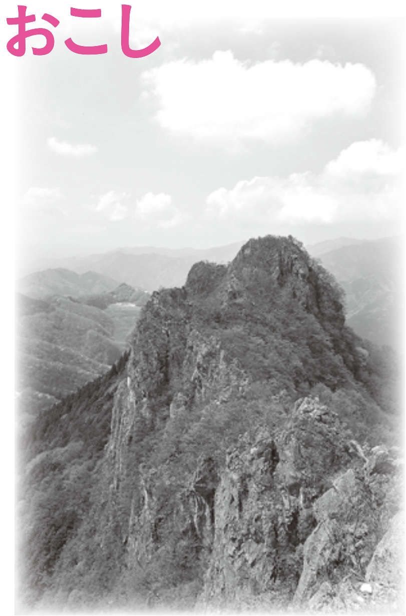
クライミングによるまちおこし



昨年10月より小鹿野町観光大使を委嘱頂いた平山ユージです。小鹿野町の皆様よろしくお願いいたします。

しかし、ご存知でない方々も多いと思いますので軽く自己紹介をさせて頂きます。日高市在住で現在プロクライマーとして活動しながらクライミングジムを経営し、2020年オリンピックを迎えるスポーツクライミングの国内統括団体として、日本山岳・スポーツクライミング協会（以下JMSCA）の副会長も務めさせて頂いております。この度、委嘱頂いた小鹿野町観光大使として、小鹿野町が持つ自然の魅力を活かし、クライミングによるまちおこしを町民の皆様は元より、岩場や自然の少ない都会の皆様、さらには日本の魅力を求め海外から来日される皆様に喜んで頂けるよう尽力させて頂く所存です。

さて、そのクライミングによるまちおこしですが、実は1980年代から沢山のクライマーがこの小鹿野町に訪れています。自分も89年から精力的に登りに来ていますが、あまり知られていなかったと思います。しかし30年以上が経った2016年、クライミングがオリンピック種目になった事で日本全国の皆様に知られるようになりました。そして現在、愛好者が国内で60万人に増え、今では室内練習場のようなクライミングジム（国内はロープを使わないボルダリングジムが主）が全国各地に600施設存在しています。

そのように人気急上昇の国内事情であるのですが、欧米のようなアウトドアで登れるフィールドが少なく、都会の愛好家が行き場に困ってしまう傾向があります。同時にJMSCAとしましては、懸命に練習する選手や愛好家の皆様が自分の力を試す場所、目標や夢にチャレンジできる場所を提供してあげたいと考えています。そこで東京から近い小鹿野町や秩父地方にある沢山の岩場が彼らの夢にチャレンジできるフィールドを提供できると考えているのです。

勿論それだけでは町民の皆様にご理解を頂けないと思いますので、2020年度に完成する予定の神怡舘のボルダー施設を通し、まずはクライミングの楽しさや魅力を町民の皆様に味わって頂くと共に、町民皆様の健康促進や地域のコミュニティを築くためにお役に立てるよう考えています。そして皆様にクライミングの魅力を知って頂いたその先には沢山の町外から来られる方々が集う岩場を整備し、また開放される事で町内の宿泊施設やお店なども沢山のクライマーが来町することで賑わいを徐々に見せてくると考えます。

自分にとっての小鹿野町は、沢山のクライマーを抱える東京近郊の岩場として、たいへん大きな可能性を秘めています。そして日本全国から、そして世界中からクライマーが訪れるような日本を代表するクライミングのメッカとして賑わう小鹿野町づくりにご協力させて頂きたいと思います。

小鹿野町観光大使　**平山ユージ**

平山ユージさんが教える ボルダリング講習会開催

日時●7月14日(日)13:00～(受付12:30)
場所●小鹿野町両神体育館
講師●平山ユージ氏(町観光大使)ほか
対象●小学生以上　※小学生は保護者同伴
費用●200円／人
定員●90人(申込順)
申込&問合せ●7月10日(水)までにお申し込みください。
小鹿野文化センター・社会教育課☎75-0063

ようこそ小鹿野町へ！

第7回 起業する移住者＆お仲間へのインタビュー

黒沢杏実さん(左)と茂木瑞恵さん(右)

黄色い建物が目を引く、大人気のパン屋さん『thx（サンクス）』。オーナーである茂木瑞恵(みずえ)さん（以下：瑞）は、3年前にUターン後、2017年7月パンの移動販売を始め、2018年1月にご実家で店舗をオープンしました。経営に欠かせない相棒だという皆野町在住の黒沢杏実(このみ)さん（以下：杏）と一緒に、お話を伺いました。

ーお二人の出会いを教えてください。

杏　昨年9月に初めてthxを訪れ、殆ど面識もないまま、インスタに私が投稿した子猫の里親募集をモッチー（瑞恵さん）がシェアしてくれ、それを機に仲良くなりました。その後、三峯神社に行こうとなり、当時の仕事の課題や今後の夢を話し合って。

瑞　その時、杏ちゃんの「もっとこうしたい」を聞いて、私が「それをぶつけられる場所を作って10年後に一緒にやろう！」と宣言し、手を差し出した。その時は握手してくれなかったけど(笑)

ーそれが、数カ月後には一緒に働いていたというのは、なぜでしょうか。

杏　三峯神社の後、身の回りに小さな良い事がたくさん起きて、それが前兆に思え、環境を整え始めました。結果、当時の仕事を辞めることになり…。

瑞　びっくりしました。でも、それまで杏ちゃんとのやりとりで自分が優しい気持ちになれていたので、10年後の予定が今となる急展開も、「彼女となら」と受け入れられました。

ー素敵ですね。お互いの印象も聞かせてください。

瑞　（杏実さんは）小さな幸せを見つけていける人。良いことがあると「助けた猫ちゃんの恩返しだね」とか気づかせてくれる。

杏　（瑞恵さんは）私を信頼してくれ、提案したことをちゃんと聞いてくれて、即現実にしてくれる人。

店舗外観

ー小鹿野町で働いてみて、いかがですか。

瑞　小鹿野で開業したのはたまたまでしたが、宣伝してくれた家族のおかげもあり、今では常連さんにたくさん支えられています。

杏　小鹿野町は、楽しいことをやっている人が多く、みんなで盛り上げようという雰囲気がある。私も今は通勤すら楽しいし、お店のことをずっと考えていて「やりたいことを全部書こうノート」も作っています。

ーどんなお店にしたいですか。

瑞　店というよりも野望ですが、関わるみんなが好きなことをやっている楽しい場所を創っていきたい。パン以外でも。そうしたら、お客さんも幸せなはず。

杏　バラバラな物が置いてあっても、全体を見ると統一感がある、自分んちみたいな空間がいい。子どもも遊べて。

瑞　杏ちゃんが来てくれてから、すごいスピードで描いていたものが形になっていて。これからも、どんどん進めます！

ー楽しみです。これから小鹿野町での定住を目指す私にもアドバイスをお願いします。

瑞　たとえ変化を恐れる人が周りにいたとしても、移住者によって町が良くなって、その結果を見て、きっと認めてくれると思います！

お話を伺っていて、さらに元気になっていく小鹿野町のイメージが湧いてきました。何より、この町で生涯の仲間と出会って夢に向かい共に歩んでいる彼女たちの存在は、移住を考える方にとっても、大きな魅力ではないでしょうか。

地域おこし協力隊　**本 奈代子**

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課☎75-1238